

○事業所名	ココロネ板橋		
○保護者評価実施期間	2025年9月22日 ～ 2025年10月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年9月22日 ～ 2025年10月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各クラスの担任が保育士を中心とした資格を有する職員で構成されている。	職員同士が日々、振り返りをクラスごとに行うことで、子どもの状況に合わせた支援を進めることができている。	様々な特性をお持ちのお子さんに対して、適切なアセスメントを各職員が定量的に行えるようなアセスメントツールを検討する。
2	リハビリ（PT・OT・ST）などの専門職の支援を実施している。	リハビリ（PT・OT・ST）などの専門職が、個別または少人数での支援を定期的の実施している。	お子さんの活動時間をなるべく避けながら個別支援を行っているため、頻度を多く設けることができていない。 今後は時間外での実施も検討する。
3	ご家族支援として、適時適切にフィードバックを行うことができている。	・自主送迎の方は、お迎えの際にフィードバックを実施している。 ・バス送迎の方も、必要な際はお電話などでお話しするようにしている。 ・家族懇談会を実施し、施設の取り組みのお知らせと、家族同士のつながりを作るようにしている。	・ペアレントトレーニングなどの家族向けのプログラムの実施を検討していきたい。 ・家族向けの研修会の実施を検討していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の状況について、蓮回会議などの情報を職員に周知できてない。	管理者が振り返りなどへ参加できていない。	児童発達支援管理責任者が地域の会議などへ参加する北kを増やし、地域の情報を事業所内で共有できるようにしていく。
2	地域の保育園・幼稚園との、お子様の交流が実施できていない。	コロナ禍で開所したため、積極的に実施することができておらず、依然として交流を行うことが出来ていない。	次年度に向けて、すでに交流のある保育園と連携し、当施設が園庭に行かせて頂くなどの交流の機会を作っていきたい。
3	マニュアルの整備が不足している。	各種マニュアルが、皆さまに分かりやすい形になっていない。	マニュアルについて、見直しを行い、皆さまへ周知していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ココロネ板橋		公表日 2025年 10月 31日								
				利用児童数			45家庭		回収数		24家庭	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応			
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	3	0	0						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	4	0	1						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	0	0	1						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	2	0	0						
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1	0	0						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	2	0	1						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	1						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1	1	0						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	1	0						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	2	0	1						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	7	12	職員人数や気候の影響もあると思いますが、以前は公園や動物園、移動水族館などの外出もあり、外での様々な経験が出来ましたが最近は園の中での活動が多い気がします。 また外出などがあると嬉しいです。	外出については、発達支援のプログラムとのバランスを見ながら進めてまいります。 屋内でも身体を動かすことができる備品の整備も合わせて進めて参ります。				
保 護 者 へ の 説	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	1						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	0	0						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	0	2	2						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	0	0	0						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1	0	1						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	0	0	0						

明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	7	0	0	子供も交えた保護者交流会の機会が増えたらと思う。	懇談会のあり方について、検討させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1	0	0	保護者との距離が近く、友人に対しての言葉遣いのようなことが見受けられるため、適切な言葉遣いにして欲しい。	職員の言葉遣いに関して、適切な対応ができるよう周知してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	3	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1	0	4	廊下に物品が溢れているため、子どもが気になって遊び始めてしまうことや、有事の際に障害物となり危険だと思う。	廊下の物品について、皆様に危険なく、見えないように整理することが出来るよう準備をさせていただきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	0	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	3	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1	0	0		

事業所名		ココロネ板橋					公表日 2025年10月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	4	室内の物品を廊下に出して、お子さんが活動中に集中できるように配慮している。	廊下の物品が多くなるため、収納スペースなどを考慮していく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1	職員配置を、2.5：1程度として配置しており、国の基準よりも多い配置をしている。	個別の配慮が必要なお子さんに対して、職員の配置を厚くするなどしているが、上限があるため環境の配慮なども合わせて対応する。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	6	室内でお子さんが気になる箇所は、目隠しするなどしている。	すでに設置されている設備がお子さんの活動に影響するものもあるため、今後の回収も視野に入れて検討する。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	5		お子さんが過ごしやすい空間となるように調整してまいります。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	2		個別支援などで部屋を使用することが増えたため、部屋を適切に使用できるように調整する。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	7		職員全体で、業務改善を行えるようにする。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	6	ご家族からの日々のお話は、職員間で共有し検討するなどしております。	アンケート結果を職員含めて検討を進めて参ります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	—	—	項目が聴取できておりませんでした。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	6	施設内でのた職員によるラウンドを行い、質の向上に努めている。	振り返り結果を広く周知していきたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	2	法令に沿った研修を行っていることや、eラーニングを導入している。	より実践に即した研修を計画できるようにしていきたい。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	1				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	1	児童発達支援管理責任者だけでなく、担当職員のアセスメントも含めて、支援計画の立案を行っている。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	2	日々の振り返りを行い、お子さんの成長を考えながら活動を進めている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	5	専門職が発達検査を定期的の実施sている。			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	3		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	3	クラス内で活動の計画立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1		活動準備などで打合せ時間の確保が難しいことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	1	3か月に1度のモニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	3		児童発達支援管理責任者だけでなく、クラスの担当職員も参加できるような体制を構築する。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	6	地域の事業所との会議へ管理者が参加している。	会議の内容を周知するようにする。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1		併行通園先と個別の連携はできているが、移行などに向けた対応までは至っていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	4	就学時の連携シートを学校へ共有している。	直接の連携が望ましいが、学校との情報交換を行うまでには至っていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	6	7		今後、一緒に取り組みを行えるように地域での連携体制を作るようにする。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	7	嘱託医からの医療面を含めた助言を受けられるようにしています。	外部専門家と連携し、助言を受けられるような体制を進めていく。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	11	管理者が地域の自立支援協議会に参画している。	内容の共有までには至っていないため、今後周知できるようにする。
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	11		地域の保育園と連携するような体制を構築していきたい。
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1	日々の送り迎えなどのタイミングでフィードバックを行うようにしている。	
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	6	保護者懇談会や就学に向けた懇談会を実施している。	ペアレントトレーニングを実施するまでに至っていない。

保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	9 ※分からない	契約時に書面でご説明をさせて頂いております。	
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0		
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0		
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0		
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	6	父母の会などはありませんが、定期的に懇談会を実施しております。	
	39	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	1		
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	3	Instagramを中心に発信させて頂いております。	皆さまへ向けた情報の発信をより充実したものにできるよう検討いたします。
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0		
	42	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0		
非常時等の対応	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	7	年1回の施設イベントを地域に開かれた形で実施している。	事業所内の行事を、地域の方々と一緒に行うことができるように検討する。
	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	7	各種マニュアルの整備はなされている。	マニュアルを用いた訓練が実施しきれていないため、対応を進める。
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	5	避難訓練を月に1回程度実施している	BCPの発動訓練まで至っていないため、訓練を進めていく。
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	施設内の看護師と共に対応している。	
	47	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	医師の指示を元に栄養部と連携して対応している。	
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	4		
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	7		
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1	ヒヤリハットを収集し、再発防止を進めている。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0		
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	1	虐待防止委員会にて、身体拘束の適正化を進めています。	